

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム成島園【和やかユニット】

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の中でその人らしい自立した生活が送れるように、法人理念を掲げ、月例会議や職員全体会議、その他の法人内の会議で理念の朗唱を行い、共有している。また、年度初めにケアの指針マニュアルを活用し、全職員で読み合わせを行い、共有と理解する機会を持ち、定期的に振り返りながら実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症対策の為、地域や事業所での催し物の開催や交流を控えている。地域の町興しでもある「桔梗の里作り」には、地域より桔梗の種を頂いて種から育て、苗を地域に還元し、例年通り地域づくりの一員として積極的に参加した。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、2か月に1回、書面の通知による運営推進会議を開催し、利用者や家族代表、地域の代表の方、駐在所の方、市職員の方に参加していただき、利用者の状況や災害訓練の実施状況、職員の研修内容などを報告している。また、参加された方から質問・意見・要望を聞き、サービスの向上に努めている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議には、毎回、市職員の方に参加していただき、定期的に意見を聞く機会を設けている。質問・意見・要望をいただき、ケアサービスの充実と向上に活かしている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束マニュアルを活用し、月例会議において全職員で話し合い、理解を深めている。日中はセンサーチャイムを活用し、玄関に鍵をかけない工夫をしている。利用者一人ひとりの状態を把握しながら、低床ベッドやセンサーマット、モーションセンサーを使用する等、安全に配		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				慮しながら、身体拘束をしない工夫に鋭意取り組んでいる。		
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内で虐待・身体拘束委員会を設置し、3カ月に1度開催している。また、月例会議にて虐待や不適切なケアについてのチェックリストに全職員が記載し、各ユニット毎にまとめ、月例会議において当てはまるチェック項目についての対応策を考え、各ユニット毎に実施して虐待の防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、月例会議で学ぶ機会を持ち、必要に応じて活用できるよう支援している。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族に文書と口頭において十分な説明を行い、不安な点や疑問点を聞きながら、理解・納得を得ている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所内に意見箱を設置し、いつでも意見や要望を聞く事ができるようにしている。運営推進会議では毎回意見や要望を聞く機会を設け、運営に反映させている。また家族への電話連絡時には、近況報告を行うと共に、意見をもらっている。頂いた意見については記録に残し、職員内で共有している。家族来訪時、利用者個人ケース記録を見せられ、意見・要望等があれば記入していただいている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月例会議や職員全体会議、また年1回代表者や管理者との面談や、職員一人ひとりに職務希望自己申告書を提出してもらい、職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。		

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月例会議や職員全体会議にて、意見交換をしながら、専門職としてのやりがいを感じられるようにしている。労働条件に関しても話し合いの機会をいつでも設けている。また、人事考課を導入し、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握して業績評価のしくみを確立している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新採研修カリキュラムを設け、法人理念や接遇マナー、介護全般について学ぶ機会を設けている。また、エルダー制度を導入し、指導・育成している。また職員一人ひとりの力量を把握して、法人内外の研修を受ける機会を作り、働きながら参加できるよう努めている。外部研修に参加した際は、月例会議にて伝達研修を行い、事業所全体で学ぶ機会を設けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月発行している広報誌を、市内のグループホームに届けている。その際、情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人のできることや得意なこと、好きなことなどを把握し、家事仕事や畑仕事、花壇作りなどを利用者と職員が一緒に行い、支え合いながら暮らしを共にしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防の為、外出は控えているが、これまで大切にしてきた馴染みの人や場所を把握して、関係が途切れないようにしている。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段の会話の中で、利用者一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めている。意思の疎通が困難な場合は、家族から本人の生活歴など聞き取りを行ったり、本人の表情や行動から職員が本人の意向の把握に努めている。			
	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員で、日常生活での本人への気づきやアイデアを記録し、それらの情報に基づき、利用者の視点に立った個別介護計画を作成している。介護計画についても評価を行い、現状に即した介護計画を作成している。		<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
17	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の暮らしの様子や気づき、ケアの実践・結果などを個別の記録に記入し、職員間で情報を共有し、またその気づきをもとに、ケアの見直しがある際は、その都度ユニット職員で話し合いを行い、実践や介護計画の見直しに活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出を控えていただいているなか、ご利用者より散髪の希望があった時に、ご家族と相談しながら訪問理容のサービスを提供するなどして、出来る範囲で柔軟に取り組んだ。			
18	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防の為、地域行事への参加は控えているが、地域で取り組んでいる「桔梗の里作り」に協力、地域より桔梗の種を頂いて種から育て、苗を地域に還元するなど、本人の心身の力を発揮できるよう努めている。			
	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族が希望する医療機関や、かかりつけ医との関係を大切にしている。本人の状態に応じて往診ができるよう連携を取り、適切な医療が受けられるよう支援している。また、受診後は、通院記録を記入し、家族への報告も行っている。			
19	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段の会話の中で、利用者一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めている。意思の疎通が困難な場合は、家族から本人の生活歴など聞き取りを行ったり、本人の表情や行動から職員が本人の意向の把握に努めている。			
	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員で、日常生活での本人への気づきやアイデアを記録し、それらの情報に基づき、利用者の視点に立った個別介護計画を作成している。介護計画についても評価を行い、現状に即した介護計画を作成している。		<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
20	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の暮らしの様子や気づき、ケアの実践・結果などを個別の記録に記入し、職員間で情報を共有し、またその気づきをもとに、ケアの見直しがある際は、その都度ユニット職員で話し合いを行い、実践や介護計画の見直しに活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出を控えていただいているなか、ご利用者より散髪の希望があった時に、ご家族と相談しながら訪問理容のサービスを提供するなどして、出来る範囲で柔軟に取り組んだ。			
21	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防の為、地域行事への参加は控えているが、地域で取り組んでいる「桔梗の里作り」に協力、地域より桔梗の種を頂いて種から育て、苗を地域に還元するなど、本人の心身の力を発揮できるよう努めている。			
	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族が希望する医療機関や、かかりつけ医との関係を大切にしている。本人の状態に応じて往診ができるよう連携を取り、適切な医療が受けられるよう支援している。また、受診後は、通院記録を記入し、家族への報告も行っている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時には、医療機関への情報提供を行い、安心して治療が受けられるよう配慮している。医療機関から利用者の現状を聞くよう努め、職員間で情報を共有している。主治医・医療相談員や担当看護師とのカンファレンスの際は、家族と共に参加し、早期退院に向けて取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時のアセスメントにおいて、本人や家族より、ターミナル期についての希望を聞き取り、全職員で話し合い、方針の共有を行っている。利用者の状態と共に本人や家族の希望も変化していくため、その思いを尊重し、事業所としての役割を話し合い、状態に応じて医療機関との調整を行い、支援に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月例会議を利用して、利用者の急変時や事故発生時に備え、利用者状態変化時ガイドラインなどを下に緊急対応の訓練をしている。実践的に行えるように、応急手当講習会を受講している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月一回、火災や地震、水害などの災害を想定した訓練を行い、全職員が対応できるよう確認している。また、地域防災協定を結んでおり、地域との協力体制を築いている。各居室の利用者名が表示されている門標に、救護方法についてのシールを貼り、地域の方が利用者の救護方法をわかりやすいように表示している。災害発生時の連絡体系に基づいて、定期的な通報訓練や通報招集訓練を実施している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの人格と意思を尊重し、プライバシーを確保しながら本人に合った暮らし方やさりげない声掛けを行っている。夏には、エアコンの冷気が苦手な利用者のために、居室の入口に暖簾		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				をかけて、プライバシーを守りながら、廊下の冷気を取り込めるようにしている。			
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの今までの暮らし方や、現在の過ごし方、思いを把握・尊重し、本人らしい暮らしができるよう努めている。新型コロナウイルス感染予防の為外出は控えているが、できる範囲で事業所周辺での散歩や趣味活動、入浴、休息など、その日をどのように過ごしたいか、希望や意向に沿って支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者と一緒に、畑や庭で野菜を育てたり、周辺で山菜を収穫するなど、季節を感じられる工夫をしている。冷蔵庫の中の食材を見てもらい、利用者と職員で献立を考えている。利用者一人ひとりのできること、得意なことを把握しながら一緒に行い、好みや力を活かせるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの食事量・水分量・排泄状況を把握できるよう記録している。利用者に合わせて食事形態での提供を行い、食事量が少ない利用者には、栄養補助食品や嗜好品などを用いて提供している。栄養バランスについて、月1回献立表を併設特養の管理栄養士に確認してもらい、アドバイスや指導をもらって、食事内容に活かしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	起床時や毎食後、就寝前に声掛けや誘導を行い、義歯洗浄やうがい、歯磨きなどの口腔ケアを実施している。自力での歯磨きが困難な利用者には、一人ひとりに合った口腔ケア用品を使用し、介助にて口腔ケアを行い、清潔保持ができるよう支援している。義歯は清潔に使用できるように、洗浄剤を使用する声掛けや、介助を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔内の清潔保持を怠ると、誤嚥性肺炎にもつながる為、継続して口腔ケアの声掛け・介助を行う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの排せつパターンや習慣を把握し、本人の状況やペースに合わせたトイレへの声掛け・誘導を行い、自立に向けた支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
	32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴の仕方や湯加減など好みを聞きながら、個々に応じた対応支援をしている。	
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの入居される前の生活習慣や現在の生活状況を考慮し、本人に合わせた休息時間を取り入れている。日中、居室以外でも、和室やソファなど好きな場所で休息できるようにしている。夜間、眠れないとの訴えがあった場合は、話を傾聴するなど安心して気持ちよく眠れるよう支援している。			
	34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アセスメントの中で、利用者一人ひとりの得意なことや、趣味、興味のあることを把握し、家事仕事や畑仕事、裁縫など、日々の生活の中で活かせるよう環境作りを行い、役割としている。新型コロナウイルス感染予防の為外出支援は控えており、屋内で気分転換の出来るカラオケや塗り絵等を、屋外では感染対策を十分にとったうえでのバーベキューなどを行い、継続して支援している。嗜好品について希望があれば、職員が購入を代行して提供を行っている。			

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>新型コロナウイルス感染予防の為外出は控えているが、畑や庭、グループホーム周辺の散歩や、わらび採り・畑で野菜の収穫等、出来る範囲で外出の支援を行っている。定期受診にあわせて日用品や嗜好品の買い物など、希望する利用者は選挙への投票の付き添いなどを行い、社会参加の支援を行っている。</p>			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>新型コロナウイルス感染予防の為外出を控えていただき、法人に来ている移動パン屋や特養事務所に設置されている自動販売機などを利用して頂けるように支援している。また、買い物時には支払いができるような声掛けや見守りを行い、お金を持つことの大切さや喜び、意義などを感じられるよう支援している。</p>			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>本人の希望に合わせ、電話や手紙のやり取りができるよう支援している。本人と一緒に年賀状を購入し、家族や知人へ年賀状を出したり、旬の食材を送ったり、電話でプレゼントのお礼や近況報告なども行っている。家族への受診報告時などにも、利用者がやり取りができるような支援を行っている。</p>			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>リビングや和室に、グループホームの花壇から採った花を花瓶に入れて飾っている。毎日の天候や気温、湿度を把握し、過ごしやすいように調節をしている。トイレの場所がわからなくなっている方もいるため、トイレの表示を様々な文字や絵で表示している。冬期間は、各居室やリビングに加湿器を設置し、適度な湿度を保っている。また、和室にはこたつを設置して、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止により、要望によっては意向に沿えない状況にある。日々の何気ない会話の中で本人の思いや願いなどを傾聴し、実現可能なこと(園内周辺の散歩や畑仕事で外に出て気分転換を図る等)は、できるだけ実施し本人の意向に沿った暮らしができるようにしている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴・なじみの人や暮らし・様々な情報をセンター方式アセスメントで全職員が把握し、会話の中に話題として家族や友人の名前、生活歴・趣味・好きなこと・好きな話題等の情報を取り入れ、安心できるケア・支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝、血圧・脈・体温・酸素飽和度の測定を行い、状態に変化があれば医療機関に繋ぎ、指示を仰いでいる。ホーム内の各所に手すりを設置し、本人の力で安全に移動できるようにしている。また本人の現状に合わせた介助や居室の整備を行い、歩行器具やセンサーチャイム・コールマット等を使用し安全な環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間については、これまでの本人の暮らしの習慣にあった生活ができていることあるが、食事・家事仕事・お茶飲み・余暇活動・休息は、できるだけ自分のペースで行うことができるようにしている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔から使い慣れていた家具・鏡台・ベッド・布団・仏壇・家族の写真などを自室に持つことができおり、レイアウトも本人の希望を取り入れ、自宅と同じような環境で安心した生活ができるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	今年は新型コロナウイルス感染防止の為、自分の意向、希望によって戸外に出かけることがほぼできなかった。年5回行っている家族会や季節ごとの行事も中止となり参加することができなかった。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式アセスメントを活用し、利用者一人ひとりの得意なこと・趣味・興味のあることを把握し、本人の現状に合わせた家事仕事や余暇活動での役割を提供できている。職員と一緒に行動できることもある為、できない・わからないと決めつけずに、できそうなことも声掛けして行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常会話の中で、利用者同士や職員とリビング・和室・自室で自由に会話できる空間があり、思い思いに過ごせるようになっている。センター方式アセスメントを活用し、家事仕事・畑仕事・余暇活動(カラオケ・塗り絵・裁縫)などで自分の得意なこと・好きなことを活かせる活動場面を得られるように支援している。		① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	今年は新型コロナウイルス感染防止の為、地域行事も中止となることが多く、地域の人々と交流することはできなかったが、地区の文化祭に作品を出展し関わりを持つことができた。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	今年はコロナウイルス感染防止の為、地域の行事はほぼ中止となったが、毎年地域の人々との交流もあり、家族会や季節ごとの行事等で外出する機会も多くある。自然豊かで静かな環境や、少人数で家庭的な環境の下で馴染みの利用者や職員と家事仕事・畑仕事などの日常生活を送りながら、よりよい日々を送ることができるように努めている。		① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	